



2011～2012年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまいか

例会日 / 毎週火曜日 12:30 例会場 / 豊川商工会議所 会長 / 山城康司 幹事 / 滝下 勲 会報委員長 / 土井昌司
事務局 / 豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 0533-86-2535 Fax0533-86-8889 H P / <http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ：心と身体を健康に

本年度第30回 通算1238回 平成24年2月7日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	1/21 修正出席率
		56名	27名	52.9%	100%

ゲスト：豊川工業高校校長 竹本禎久氏 豊川高校女子駅伝部監督 森安彦氏 ビジター：(なし)

会長あいさつ

山城康司会長

全国高校駅伝出場お礼挨拶

こんにちは。
節分、立春となりまして、今日の雨は春の雨だと思います。本宮山に30cmの雪が積もりましたので、張り切って登って参りました。歩く中で、鳥のさえずりが多くなりました。雪の中でも春を感じました。



2月5日に、東三河分区IMが、豊川クラブがホストされて、豊川閣妙巖寺で開催されました。東三河の13クラブの理事役員や入会3年未満の会員、約350名が出席されました。今回のIMは、岩瀬ガバナー補佐の方針の「開かれたロータリー」ということで、基調講演の東国原英夫氏の講演会は、一般の方も入って「東三河をどけんかしんといかん」と題して講演が行われました。東国原英夫さんの講演会は1時間半で、笑いがいっぱいの講演会でした。一般の方は、入場券一人500円をお支払いになっての入場で、この入場料は東日本大震災の義援金として寄付されるそうです。

幹事報告

滝下 勲幹事

理事会報告
例会臨時変更のお知らせ
ロータリー手帳注文について

委員会報告

井指光基会員
1月28日のテレビ出演の裏話

豊川工業高校 竹本禎久校長

こんにちは。
昨年の12月25日の全国高校駅伝競走大会で、2時間6分3秒で6位入賞をすることが出来ました。大会の中で



の大きな財産は、4区と5区で区間賞をとってくれたことです。ありがとうございました。本校の現在の状況は、一昨日に行われた名岐駅伝では2連覇をすることが出来ました。今回の大会は、監督が最初から優勝すると言っていました。監督が急に勝つぞ、勝つぞと言いはじめましたので、そのあたりで子供たちが変わってきたのだと思います。その目標を達成するために子供たちは頑張っていました。この時も区間賞を1区、4区、5区取ってくれました。この大会で出場した2年生は、スキーの修学旅行から帰ったばかりでしたが、力が発揮できたことを嬉しく思います。

思い返すと、今回の大会の中で、本校の子供たちのいろんな姿を見てきた中で、一番思い出に残っているのは、昨年の夏に東北で行われたインターハイです。今回の主力メンバー5名が愛知県の代表で参加しました。大会の合間を見て、監督が彼らを連れて、震災の被災状況を見せに行きました。見たのは、陸前高田市、大船渡市です。しかも、その現場を歩かせました。その当時、風評被害等いろんな噂がありましたが、監督は歩かせました。その時の気持ちを9月1日の始業式の日には報告させました。「走れるだけでも、こんなに幸

せなことはない」とキャプテンが言いました。あの時に、今年の子供たちはチョット違うなと思いました。それが現在に至っているのかと思います。走ることを通して、少しでも心を育てることが重要かと思えます。本校の大きな課題でもあります。心を育てて社会に出していきたいと思えます。今後もと、ご支援ご協力をお願いします。ありがとうございました。

豊川高校 森安彦監督

こんにちは。昨年の12月25日の全国高校駅伝大会で3回目の優勝を成し遂げることができました。日頃、生徒が常に優勝



するという気持を持って練習している成果だと思います。4区を走った3年生の生徒は、1年、2年と走れず、3年生になってやっとチャンスをつかんで走ることが出来ました。その子は、長野県から来た子で、2年間の想いがあって走れて良かったです。区間賞は取れませんでしたでしたが、精いっぱい頑張って「この区間で決める」と言ってくれて出てくれました。アンカーの子が少し体調を崩していたので、他の選手の子が頑張ってくれました。3回の優勝の中で、今回がチーム一丸となつての優勝だと思います。皆さんからの日頃からのご支援のお蔭だと思っています。今年も良いチーム作りしながら、皆さんに期待して頂けるよう、そして史上初の4回目の優勝目指して頑張っていきたいと思えます。これからもご支援ご協力をお願いします。今日はありがとうございました。

ロータリーカードについて

太田稔R財団委員長

ロータリー財団委員会からロータリーカードについて紹介させていただきます。



ロータリー財団は、東日本大震災の大事に鑑み、日本の全ロータリアンが復興

支援に参加できるように、ロータリーカードのロイヤリティ（カード利用額の0.3%とゴールドカード年会費10,500円のうちの3,000円）を復興基金として利用できるように決定しました。期間は、2012年12月31日までです。日本のすべてのロータリアンがロータリーカードを取得し、身分証明書として日常生活で使用して復興支援に協力して頂きたいことです。ご協力をお願いします。

日本のロータリアンへ
**ロータリー・カードで
東日本の復興を！**

2011-12年度 ロータリー財団地域セミナー (Zone1,2,3)

ロータリー・カード利用拡大キャンペーン

ロータリー・カード コーディネーター
第1ゾーン 佐原 元(喜多方RC)
第2ゾーン 関 博子(東京世田谷中央RC)
第3ゾーン 小林 完治(岡山西南RC)

2011.11.23(大阪)

田中作次RI会長年度を
オール・JAPAN で盛り上げよう！

日本のロータリアンの皆さん
一人一人のロータリー・カード利用が、東日本の災害復興を助けます！
Rカードの利用を、
全国へ浸透させることで、
田中作次国際ロータリー
会長年度を盛り上げよう
ではりませんか！

田中 作次RI会長エレクト

ニコニコボックス

井指光基会員 テレビ放映されました
伴 辰三会員 誕生日を祝って頂き
大木健市会員 入会記念日を祝って頂き

クラブ目標：会員増強純増 2名
クラブ目標：R財団寄付額 \$100/人
現在の状況
会員増強・・・純増1名
R財団寄付額・・・\$81/人

会報担当者：土井昌司会員、来山健一会員
このウィークリーは再生紙を使用しています。